

2021年3月19日

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	株式会社エクシオジャパン
所在地	神奈川県横浜市西区北幸2-4-3 GM21 ビル3階
代表者氏名	佐伯 猛
保育園名	サンライズキッズ保育園 湖南石部園
園長名	木屋尾陽子
定員（利用人数）	19名（18名）
施設・事業所所在地	滋賀県湖南市石部中央2丁目1-10
T E L	050-5807-2238
F A X	0748-78-0082
電子メール	<a href="mailto:konan@sunrisekids-hoikuen.com">konan@sunrisekids-hoikuen.com</a>
ホームページアドレス	<a href="https://www.sunrisekids-hoikuen.com/konan/">https://www.sunrisekids-hoikuen.com/konan/</a>

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク滋賀福祉調査センター
評価実施期間	2021年3月11日（オンライン調査）

## ○ 総合評価

(株) エクシオジャパンは2012年から保育事業に参入し、現在全国で24の小規模保育園プリスクールを運営している。滋賀県内では目下3園（2021.4.1甲賀園設立決定）で、本園は2018.4.1に2番目の設立園である。0才～2才という人格形成の基礎を作るとても大切な時期を温かく家庭のような落ち着いた環境で子どもを育てる事が大切であると認識し、待機児童解消に向けて、心身共に健康な子どもを育てることが、日本の未来を築く社会貢献になると認識し、この分野に参入した。

「もっと輝け、明日のぼく、わたし！周りに光とパワーを与える。ぽかぽか暖かい太陽のような子になろう」を保育理念とし、情緒の安定を図り、落ち着いた環境、一人ひとりの個性を大切にすたっぷりの愛情をもって保育することを基本にしている。

この時期が脳の成長の一番大切な時期ということ踏まえ、育脳を大きな軸に体操・リトミック、英語カリキュラムを取り入れ、絵本プロジェクトの読み聞かせが子どもの成長にとって計り知れない効果をもたらすことから、一日に10冊以上の読み聞かせに取り組み、繰り返しの活動の中で、集中力を持続する鍛錬につなげている。

小規模園で子どもの人数が少なく、縦割り保育の状態が何時もあり、0才児～2歳児の子ども達が顔見知りとなり、大きい子どもと小さい子どもの関わりが深いいたわりあう心が芽生えている。小さい子どもたちは年上のこどもの動きを見て、成長できることも多く、また担任以外の保育士が身近にいて、顔見知りの保育士とは愛着関係が築けている。

保育士間で担任以外の子どもの様子が日々の中で自然に共有できている。家庭のような環境を作り、子ども達の笑顔作りに努めている。駐車場が広く、保護者の送迎時がスムーズであり、砂場の手入れも行き届いているが、駐車場と隣接しているため入り口は施錠確認を必ずし、安全に配慮している保護者の評価も高い保育園である。

## ○ 特に評価の高い点

### 1. 運営組織と運営方式について

- ・会社組織でマニュアルが統一されており、問題が起こった際にも本部の組織でチェックや指導が行われるのは心強い。本部のバックアップが常にあり、問題解決にもスムーズに取り組み、保護者への対応にも迅速な指導が行われるのは心強く安心できる。
- ・全園共通 Web 配信システムで指導計画や現場からの情報提供・報告など迅速に実施し合い、これらの活動は業務合理化に直結しており、本部の支援もタイミング良く行われている。
- ・年4回の自己評価システムで園長との面談が何時も行われ、加えて360度査定というユニークな方式（上司も含めて、無記名で人事評価・査定を行い本部に送付し、本部で整理を行ったうえ各個人に還元されて来る）も有効に働いており、結果的に職員同士気楽に相談し合うコミュニケーションが定着している。

### 2 環境整備と美化活動、安心・安全対策について

- ・環境整備、美化に力を入れており園内の整理整頓が行き届いている。
- ・子どもに危なくないように壁はクッション材を活用し、クラスの仕切りには、柱、仕切りがなくフェンス柵を使用し、その柵の開閉時にはロックによる常時施錠等、子ど

もの安全第一で進めている。

- ・トイレ内の清掃も行き届き、便座は暖かくトイレトレーニングが進みやすい。手拭きは紙タオルを使用し感染防止に対応している。
- ・散歩コースや現地での安全を前もって確かめ出かけるが、散歩の途中に地域の方々が声を掛けてくれ、子どもたちも笑顔で交流を楽しみ、繋がり温かさを感じる。職員もまず安全をモットーに明るく向上心があり、笑顔にあふれている。
- ・美化に力を入れており0歳児のほふく場所や室内の動線は勿論、園内隅々まで清掃・消毒・換気・温度・湿度に留意し、園内美化が徹底している。昼寝用のコットは保育園で整備し清潔を徹底している。布団の月曜持参、金曜の持ち帰りが無いことは、保護者にとっても大助かりのサービスとなっている。
- ・毎週、環境・美化について、各ポイントの写真を撮り、毎週金曜日に本部へ報告送信している。

### 3. 職員にとって働きやすい職場環境作りについて

- ・職員のワークライフバランスを考え、残業はせず仕事を終えたあとを家族やプライベートな時間として個々に活用でき、仕事に臨む時は健康な心の状態で子どもたちと接し、明るい笑顔で保育・職場作りをしている。
- ・自己評価を3か月に1回実施し、自分を評価する事で気づきやスキル不足など力量の把握を確認できるようになっている。また、その内容により園長は職員の悩みに気づくのが早く、面談の中で解決策を見出す事が可能となっている。
- ・職員の笑顔や話し方に人を思いやる気持ちがみられ、話している人に安心感を与えている。お互いに言いにくいことは、言葉を選び相手の気持ちや反応を確かめながら伝え、子どもにとって保育上注意してほしいこと等もはっきり言える関係作りができています。
- ・入園した外国籍の子どもはまだ日本語に馴染めないが、お互いに言葉が分からない中でも片言で理解しようとする姿が見られる。保育士も子どもにゆっくりと話しかけ、子どもも少しずつ保育士に慣れていく中で、保育士が話した言葉を繰り返す姿が見られる。こうした園児受け入れも職員にとっては大きな財産になるものと期待したい。

### 4. 食育について

- ・食べることは「楽しい」「美味しい」を目標に、スプーンの持ち方・箸の使い方などマナーも慌てず自然に身につくように伝えている。
- ・栄養士を配置し専門的分野の相談・助言を提供するとともに調理員と協力して、自園調理で地産地消をモットーに毎日新鮮な食材を購入し、子ども達の栄養やバランスを考慮した給食、おやつを提供している。
- ・誕生会や行事食を取り入れ、楽しく食事ができる子ども・食べ物に興味を持てる子・

食べることを期待する子を育むとしている。ホームページで毎日のメニューを公開し、喫食状況は連絡帳で知らせている。

- ・食事の場での縦割りでの0～2才児の合同の食事風景にはお互いに影響し合える良さが出ている。食事後の着替え、絵本、お昼寝への移行もスムーズでみんなが一緒に活動しているとは思えないほど自然に流れている。2歳児が年下の子のエプロンの世話をしながら互いに顔を見合わせコミュニケーションを取っていた。合同での食事は異年齢層とのつながりが深まると同時に、笑顔の多い食事風景が生まれている。

#### ○ 改善が求められる点

##### 1、地域社会との関係作りについて

- ・近隣地区住民との関係作りには一定の成果を上げているが、地域社会との関係特に災害時の救出などを考えると、自治会との協議などから前進して行って欲しい。行政の支援を得て当地の民生・児童委員との関係作りも期待したい。

##### 2、職員の園内環境及び健康管理について

- ・職員の健康管理については、年1回の健康診断を行うこととなっているが、とくにiPad入力を中心に細かい仕事が多く、メンタル面と共に眼科検診も健康診断に追加して行くことを検討されたい。

##### 3、保護者との絆強化について

- ・コロナ禍で保護者支援の機会が減っている。色々工夫はみられるが保護者不安解消のため、保護者への声掛けをさらに進めてほしい。子ども達の少しの変化、成長やうれしい事も含めて伝えることで何時も見ていて貰えているという安心感になり、保護者の思いに答えられる。

#### ○ 第三者評価結果に対する事業者のコメント

自園は今年で4年目を迎えるまだ歴史の浅い保育園ではありますが、開園当初より地域の方々にも温かく見守られまた自然に囲まれた有り難い環境の中で保育ができる事に感謝をし、保育方針にもあるように一人一人を大切に・愛情をもって保育を行ってきました。日々保育園を行う中で保育士それぞれの保育観があり意見がぶつかる事や自分達の保育がこれで良いのかなど悩むことも多く、その都度職員間で話し合い、子ども達にとって良い保育は何かを模索してきました。そんな中、今回初めて第三者評価を受ける事となり、改めて自園についてさまざまな角度から保育を振り返る良い機会となりました。中でも評価結果の改善が求められる点にもありますように地域社会との関係づくりについては、交流はあっても地域行事などの参加などには消極的な所もあった為地域に根ざした保育園となるよう、近隣園からも情報等をもらいながら関係づくりに努めていきたいと改めて感じました。またコロナ禍で保護者の方同士の集まる機会の減少やゆっくりと話をする時間の確保が難しくなっているため、時間が取れない分より多く保護者の方に声を掛けるようにしていき、子ども達や保護者の方にとって安心・安全な保育園となるようまた、職員にとっても働きやすい環境となるように本部とも連携を取りながら園運営を行っていきたいと思います。

高い評価をいただきました環境整備・安全対策や運営、食育、職場環境につきましては今後も維持しながら、さらなる向上へ向け職員一同努めて参りたいと思います。